

視察用

様式(細則 5-2)

平成 30年 5月 29 日

浜田市議会議長
川 神 裕 司 様

議員名 永見 利久



調 査 研 究 活 動 報 告 書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 平成30年5月9日(月)～平成30年5月11日(水)
2. 視察先および研修テーマ
 - (1) 場所 栃木県佐野市 佐野市役所
内容 特定非営利活動法人エコロジーオンライン
 - ① 認知症ケアの取組について
「オトカラダ」プロジェクト
 - ② カラフルファームの取組について
 - (2) 場所 埼玉県横瀬町 横瀬町役場
内容 官民連携のまちづくり「よこらぼ」について
3. 参加者 川上幾雄、永見利久、串崎利行、上野茂
田畑敬二、西田清久、澁谷幹雄、川神裕司
4. 調査経費 389,220円/8人=48,652円



5. 調査研究活動の概要

1. 特定非営利活動法人エコロジーオンライン

理事長：上岡裕 事務局長：上岡七生美

エコロジーオンライングループは、実践を通して、音楽、アート、エンターテインメントなど、様々なコンテンツを医療、介護、まちづくりの現場に届ける取り組みをしている。

認知症ケアの取組について

「オトカラダ」プロジェクト

- ① 音楽による認知症ケアの開発
Music & Memory
- ② コンテンツと能、介護の関連性の
研 究・実践
 - ・ 全国の医療介護施設、山梨大学
- ③ 高齢者介護に活用するコンテンツの開発
 - ・ ソニー・ミュージックエンタテインメント
 - ・ Spotify
- ④ 認知症予防をテーマとするツーリズムの開発
 - ・ 沖縄県(音楽)、長野県(森林)
- ⑤ 音楽による高齢者の居場所づくり
 - ・ 懐かし歌謡カフェ♪ミューズの実践



エコロジーオンライン理事長の説明

カラフルファームの取組について

農林福連携事業

- ① ユニバーサル農業を目指す農業法人との連携
- ② 就労支援施設が手がける農業の支援(就労支援センター「風の丘」)
- ③ 就労支援施設で働く人材と農業生産法人とのマッチング
- ④ 里山保全事業での障がい者雇用の模索(里山ウェルネス研究会)
 - ・ 長野県飯山市での林福連携事業

[所 感]

NPO 法人エコロジーオンラインの視察において、認知症ケアの取組「オトトカラダ」プロジェクトについては、音楽による認知症ケアをそれぞれの個人にふさわしい楽曲や楽曲リスト、即ち「パーソナルソング」をダウンロードして提供する。認知症、身体的困難を伴う疾患、社会的な困窮度にかかわらず、このプログラムを活用することが可能、との説明をして頂きました。

パーソナライズされた音楽の有効性では、興奮状態やアルツハイマー症状に伴う錯乱の減少や、患者同士の協力と周囲への関心度合の増大や、透析、心臓疾患、寝たきりの患者に対するケアの充実、痛み、うつ状態、不安や不眠症に苦しむ患者への薬物使用を伴わないケアの充実、そして高血圧疾患も含む施設の患者に対する鎮静、リラックス効果に、有効性があるとの説明をして頂きました。

トライアル事業で、かつて慣れ親しんだ音楽に触れる取組を3ヶ月間でのトライアルを、認知症の高齢者を対象に「音楽によって自分らしさを取り戻してもらおう」取組を介護施設で行い、対象者が若い頃に慣れ親しんだ音楽をダウンロードして、1日30分～1時間、週何回か聞いてもらうという音楽療法の一種で、認知症の高齢者6人に協力してもらった結果、4人について生活意欲の向上がみられたというお話を伺った。

私は、この研修の認知症のケアの取組で、慣れ親しんだ音楽を聞くことにより、昔の事を思い出し、そして昔の記憶がもどり患者の認知症の進行を遅らす効果があるとの説明をして頂き。浜田市でも、介護の現場での認知症に対しての取組を検討すべきではないかと思いました。

カラフルファームの取組については、就労支援施設からの雇用の受け皿となる農業法人の育成や、農業法人の高齢者の雇用も含めての取組、利用者が栽培した野菜を販売するマルシェの活性化の支援、そして若手農家たちと就労支援施設との連携をコーディネート取組の説明をして頂きました。

カラフルファームプロジェクトの取組は、とても素晴らしい取組で関心致しました。今後、浜田市においてもこのような取組みを、行政として行っていけるのか、取り入れて行けるのか検討すべきと思いました。

2. 官民連携のまちづくり「よこらぼ」について

説明者：富田能成（横瀬町長） 他、執行部・議会関係者

「よこらぼ」は町が抱える課題、企業が抱える課題を、地方でプロジェクトを展開したい。地方創生加速化交付金、公共領域のIT化、シェアリングエコノミー等、「地方創生機運の高まり」自治体・民間で、地域をより良くできないかを背景に、取組を開始した。



横瀬町役場

「よこらぼ」採択主要分野

- 教育・子育て関連 7件
- シェアリング 5件
- 新技術活用・開発 10件

主な採択事業

- 無線通信技術「LPWA」の有効性検証
 - ・ 機器設置場所の提供や交渉
 - ・ 検証への協力住民の募集など、円滑な検証サポート
- 動画新技術の実証実験
 - ・ 被写体中心360°カメラの実証試験
- 遊休資産の活用・シェアリング
 - ・ あしがくぼ笑楽校(平成20年廃校)の活用
- 地域発体験ツアー「TABICA」の普及
 - ・ 「宇根の春祭り」体験ツアー・その他のツアー
- 横瀬クリエイティビティ・クラス
 - ・ 都内で活躍するクリエイターと、横瀬の中学生が脚本～撮影を担当した映画作品の制作

○ 「はたらクラス」

- ・月 1 回 地域内・外から 1 名ずつの講師を招き、授業を実施、多様な仕事・生活スタイルを知り、応援してもらう風土を作る。

○ 遠隔医療相談「小児科オンライン」

- ・LINEなどの動画機能を使って気軽にオンラインで相談

○ インパウンド向け動画政策・発信

- ・あしがくぼの氷柱で実証実験

○ カフェ寺 s(テラス) YOKOZE

大学生との連携事業

- ・大学生の目線やアイデアを取り入れることで、若者をはじめとした観光客の誘致に繋げ、普段体験できない札所やお寺を使ったカフェ、秩父銘仙を着た散策など「若者か訪れたいくなる場」をコンセプトとしたイベントを実証実施。

[所 感]

埼玉県横瀬町、官民連携のまちづくり「よこらぼ」の視察研修において、執行部の皆様から、町が取り組んでおられる「よこらぼ」の誕生の背景、提案からプロジェクト開始まで、現在 35 件が採択され取り組まれていると説明して頂き、そのうち 9 件の採択された事業の説明をして頂きました、その中で「遊休資産の活用・シェアリング」の事業は、廃校施設を、まちの事業で活用、民間のドラマ・MV撮影・イベントへ貸出を行い、町の情報発信や人が集まる拠点の誕生、交流人口の拡大期待できる、知名度のアップの期待も出来るとの説明をして頂きました。遠隔医療相談「小児科オンライン」診療時間外の平日 18 時から 22 時 LINE などの動画機能を使ってオンラインで相談、対応は小児科医の専門医で、利用者は無料、日本位一子育てしやすい町に向かってチャレンジをすると説明をして頂きました、これからは「入口を広く、多様なものを、早く決断、」「人のつながりを大切に」「住民がより実感できる展開への取り組み」などの取組を進めていきたいと伺いました。

横瀬町の取り組まれている、「官民連携の町づくり」のように、官の強みと民間の活力を活用しながら、今後、行政と民間が関わり合いながら、町づくりに取り組むのは、浜田市においても、地域性も考慮しながら取組を検討すべきではないかと思いました。